

## ～ 皮膚科の先生方へ ～

### 「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」のご案内

近年ますます、フットケアの必要性が指摘されています。足のトラブルは皮膚に現れやすく、患者の多くは皮膚科を受診することになります。患者によっては皮膚の問題だけでなく、筋骨格系の異常（足の外科領域）や内科的疾患や脈管系の異常（下肢救済領域）を抱えていることがあります。

特に重症化しやすい糖尿病患者には「糖尿病合併症管理料」、透析患者には「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」が新設され、内科領域で足をチェックする習慣も増えてきました。一方、内科の臨床の場において、「スキントラブルの扱いが分からない」ということもあるのではないのでしょうか。

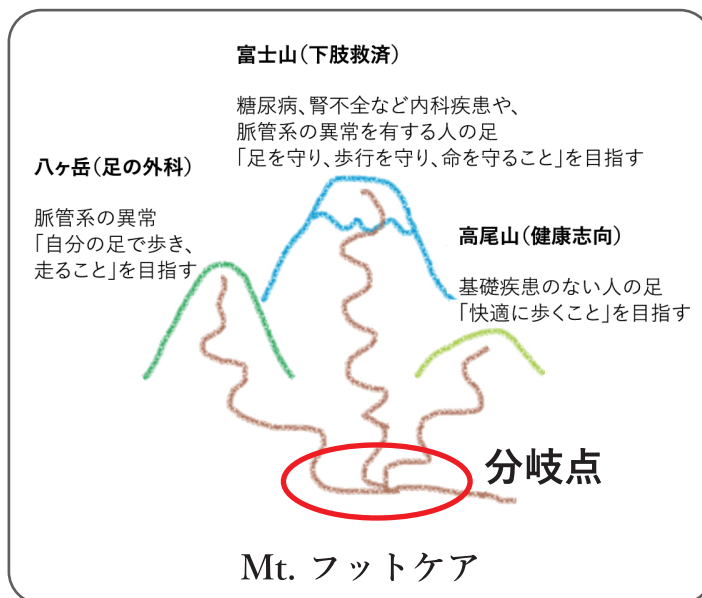
上述したようにフットケアの必要性が高まるのに伴って、皮膚科の先生方がリーダーシップを取る形での、足病変を重篤化させないための地域連携も今後ますます必要になってきます。

本セミナーでは、「循環障害を見る方法やむくみへの対処法」「足の機能生理学に基づいた胼胝や鶏眼の成因」「糖尿病性皮膚潰瘍の見方」「地域連携の中での役割や外来の運営法」などをテーマとしたワークショップやパネルディスカッション、ライブをご用意。これらを通じ、皆さんの理解を深めていただくことを期待しています。

最後に、フットケアを山に例えた図をご紹介します。皮膚科の先生方は Mt. フットケアの麓の「分岐点」にいらっしゃるのだと考えています。フットケアに携わる医療従事者や患者が道に迷いそうになったとき、適切な道案内をして導いていただける。そのような連携ができれば幸いです。

会場で皆様にお会いできることを楽しみにしています。

第1回 日本フットケア・足病医学会  
富士山セミナー 会長 花田明香



#### 花田明香 (Hanada Sayaka)・プロフィール

2000年、山口大学医学部卒業。6年にわたり心臓外科医としての初期教育を受けた後、2006年より血管外科医として透析グループに勤務。足とその歩行を守るための多職種チーム「はながたみ」を立ち上げ、糖尿病・透析患者を中心に多くの下肢救済に携わる。2017年より新富士病院外科診療部長兼血管外科センター長。2018年、静岡県東部ハンズオンセミナーを立ち上げ、フットケア指導士、脈管診療技師、理学療法士、義士装具士らと共に、足を見立て危険度を知るための具体的な方法を広めている。

#### ◆リハビリ（フットケア）に関わる主たる講演履歴

「高齢者の足専門診療におけるパワープレートの活用事例」（2014年12月・東京）／「血管外科医が伝授するフットケア」（2015年11月・愛知）／「リンパ解剖と浮腫の原因と改善法～トレーナーが知っておくべき“むくみの科学”～」(2017年3月・東京)／「下肢静脈瘤の最新治療」（2018年6月・静岡）／「糖尿病・透析患者の足にひそむ危険とその対処法」（2018年9月・静岡 他）／「透析室で見逃してはならない虚血のサイン」（2018年11月・三重）／「これからは始めるフットケア～高齢者を足から守る～」(2018年12月・愛知)／「高齢者によく見られる足のトラブルとその対処法」（2018年12月・愛知）／「足を解く～血管外科医からフットケアナースへ～」(2019年3月・大阪)

## 「第1回 日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー」概要

●会期——2019年9月7日(土)・8時55分～18時05分

●会場——コンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)

TEL : 055-920-4100

静岡県沼津市大手町1丁目1-4 (JR沼津駅北口より徒歩3分)

●参加登録費 (当日)

参加区分		当日登録
医師・企業	会員	10,000円
	非会員	11,000円
コメディカル	会員	8,000円
	非会員	9,000円
学生 (学生証提示)		2,000円

### ●参加方法

事前参加登録の受付は終了しました。当日参加をご希望の方は、セミナー当日、会場となるコンベンションぬまづ (プラザ ヴェルデ)・1F ホワイエ「参加登録受付」までお越しください。登録受付は8時15分～17時となります。

### ◆セミナー内容・およびテーマ

テーマは「The Team work - Let' s climb to the Mt.Footcare with the map -」。フットケアを登山に例えれば、頂上には「患者の足を守り、歩行を守り、その人らしい人生をまっとうすること」があります。そこに到達するためには、足をみる人々がフットケアに関する十分な知識と経験を持ち、チームワークを重視することが大切です。本セミナーではフットケアに関わる多様な職種の方をお招きし、医療従事者はもちろん非医療従事者にも役立つ講演・企画・展示を行います。

### ◆日本フットケア学会について

フットケアは元々、日常の大半を靴で過ごす欧米で発達した「足の医学」です。近年の日本において、フットケアはチーム医療として取り入れられると共に、患者のQOL (クオリティ・オブ・ライフ) と医療の質の向上、医療の効率化を追求するための効果的な医療手段として注目を浴びるようになりました。それを受けて、チーム医療によるフットケアの正しい知識の啓蒙・普及を目指し、2003年10月に「日本フットケア学会」が設立されました。

2019年7月1日、当学会は「日本下肢救済・足病学会」と合併し、「日本フットケア・足病医学会」が新設されました。